

大型トラックの動力伝達装置のリコールについて

平成 21年10月27日

リコール届出番号2404

平成21年10月27日、日産ディーゼル工業株式会社は下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。

ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- プロペラシャフトのプラグ溶接位置の指示が不適切なため、溶接部の強度が不足しているものがあります。そのため、そのまま使用を続けると、プラグ溶接部に亀裂が生じ、最悪の場合、プロペラシャフトが破損し、走行不能となるおそれがあります。

2. 改善の内容

- 全車両、当該プロペラシャフトを対策品と交換します。

3. 対象車両

- 日産ディーゼル工業株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

型式	対象車の含まれる車台番号の範囲 及び製作期間	対象台数
KC-CD48CWH	CD48CW-00005～CD48CW-00260 平成10年 2月17日～平成12年 2月28日	244
KL-CD48ZVA KL-CD48ZVE KL-CD48ZVH	CD48ZV-00010～CD48ZV-01164 平成11年 7月12日～平成15年 3月11日	170
KL-CD48ZWA KL-CD48ZWE KL-CD48ZWH	CD48ZW-00008～CD48ZW-03580 平成11年 3月18日～平成15年 3月29日	1,599
計7型式	製作期間の全体の範囲 平成10年2月17日～平成15年3月29日	合計2,013台

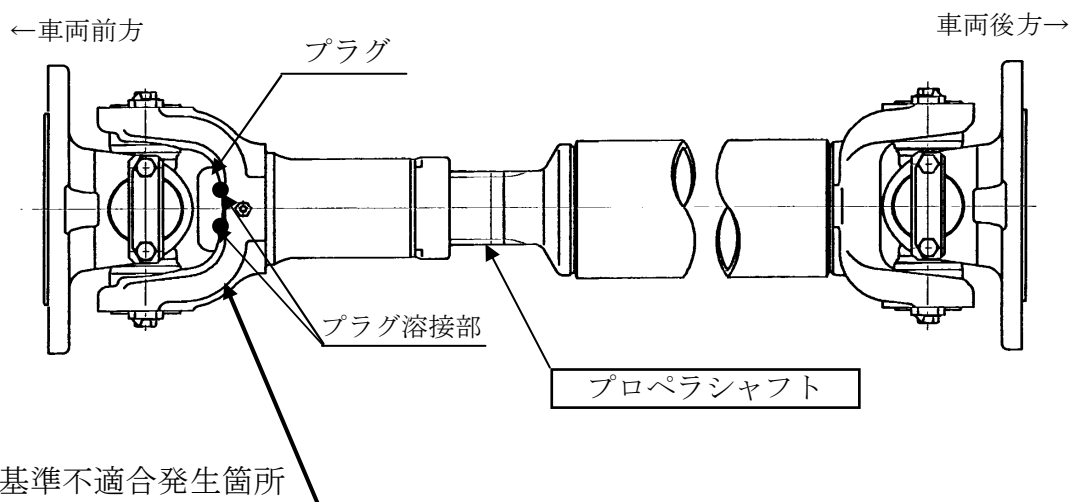
<備 考>

- 本届出は、平成19年1月30日付け「届出番号1798」にてリコール届出を行ったものですが、届出車両以外に不具合が発生したため、再度検証した結果、対象車両を追加し、新たにリコール届出するものです。

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラック販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

改善箇所説明図



プロペラシャフトのプラグ溶接位置の指示が不適切なため、溶接部の強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プラグ溶接部に亀裂が生じ、最悪の場合、プロペラシャフトが破損し、走行不能となるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該プロペラシャフトを対策品と交換する。

注：□内は、交換部品を示す。

識別：スプラインヨーク部に、白色ペイントを塗布する。

備考 本届出は、平成19年1月30日付け「届出番号1798」のリコール届出において、届出型式以外に不具合が発生したため、再度検証した結果、対象型式を追加し、新たにリコール届出するものである。